

特別支援学校の生徒が東三河産木材とデジタル技術で 「木製エコキャップガチャ」を製作 ものづくりを通じて生徒の強みを地域へ発信

10月1日に試作品お披露目！

愛知県立豊川特別支援学校の生徒たちは現在、レーザー加工機や3Dプリンターを駆使し、東三河産スギの「木製エコキャップガチャ」づくりに挑戦しています。地域の木材を使ってガチャ本体の製作から、生徒が描いたイラストをデジタル化して作る景品まで、生徒一人ひとりが自分の得意なことやアイデアを生かしながら、ものづくりに取り組んでいます。

このプロジェクトの目的は、単に「ものを作る」ことではありません。デジタル技術を通じて、知的障害のある生徒たちの可能性を地域社会に発信し、将来の就労や社会参加につなげることを目指しています。

7月から製作をスタート。材料は生徒たちが東三河産スギを選びました。地域の企業と共に試行錯誤しながらものづくりに挑戦する生徒たちの姿を、取材・発信していただければ幸いです。



プロジェクトの背景



豊橋市で製材業を営む「老津木工有限会社」は、約6年前から同校木工班と交流してきました。木材の端材を提供したり、糸のこぎりの使い方や木工技術を指導したりする中で、就職活動に苦労している生徒が少なくないことを知りました。

一方、木材加工の職人の目から見ると、生徒たちが単調で細かな作業にも集中力を切らすことなく、黙々と最後まで取り組むその姿勢に素晴らしいものを感じます。決められた作業を丁寧に続ける力、最後までやり遂げる責任感、好きなことや得意なことに取り組む際に発揮する高い集中力など、それぞれにさまざまな強みを持っています。しかし、こうした力は履歴書や面接だけでは十分に伝わりにくく、生徒の得意を企業や地域に知ってもらう機会が限られていることが課題だと感じました。

先端技術は生徒たちの想像力を形にする「魔法のツール」

同校は、高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）採択校です。ガチャの景品は、生徒たちが描いたイラストをデジタル化し、レーザー加工機で加工した世界に一つだけの作品。生徒自身のアイデアが形になったときの「自分にもできた」という成功体験は、生徒たちの自信や自尊心を育み、将来の社会参加に向けた原動力になると考えています。

木製エコキャップガチャとは？

ペットボトルのキャップを硬貨の代わりに投入して楽しむ、エコな木製のガチャガチャです。生徒たちは、ガチャ本体の材料選びから、部材の研磨、組立、景品製作を手がけます。

■プロジェクト概要

主催：愛知県

事業名：令和8年度東三河森林資源活用事業

運営・プロデュース：老津木工有限会社

設計・試作：東海WOOD株式会社

共同製作：県立豊川特別支援学校 木工班

第1回出前授業（7月15日）では、東三河産スギ、スプルス、ホワイトアッシュ、3種類の木材を生徒たちが比較。硬さや切りやすさ、比重の測定、木目や美しさなどの特徴について話し合った結果、**軽くて加工しやすく、扱いやすいうえ、耐久性も備える東三河産スギを選びました。**

■取材のご案内 第2回出前授業

日時：令和8年10月1日（木）

10:00～12:00

会場：県立豊川特別支援学校 木工室

対象：木工班（1～3年生）約10名

当日の主な内容

- ・木製ガチャ本体の試作品お披露目
- ・部材の研磨
- ・木製ガチャ構造説明
- ・組立作業

※生徒たちが描いたイラストをレーザー加工機で加工し、ガチャの景品を制作する様子も撮影いただけます。

・木工技術指導

・11月のイベントに向けた共同製作

プロジェクトスケジュール

7月

第1回出前授業

木材比較
材料決定

8月

試作品設計・製作

試作品の製作

10/1

第2回出前授業

試作品の確認
組立作業
木工技術指導
共同製作

10月

仕上げ調整
完成に向けて
最終調整

11月

一般公開
11月6、7日
「ウッドコレクション
2026 in 東三河」
イオンモール豊川
（豊川市白鳥町）

イベント終了後
集めたボトルキャップは、同校を通じて、ワクチン支援に役立ててもらいます。

報道関係の方からのお問い合わせ先

老津木工有限会社（担当 松井誠）

愛知県豊橋市老津町中聖38-1

☎ 電話番号：090・6581・8424

✉ メールアドレス：oitsutoyohasi@yahoo.co.jp